

フィナステリドによる男性型脱毛症治療説明書

男性型脱毛症とは前頭部の生え際が後退し、頭頂部が薄くなる成人男性に起こる状態です。DHT（ジヒドロテストステロン）というホルモンが原因となっていると考えられています。DHTはテストステロンというホルモンが5 α リダクターゼという酵素と結びついてつくられます。フィナステリドは5 α リダクターゼの2型のみを阻害し、デュタステリドは α リダクターゼの1型と2型の両方を阻害することで、男性型脱毛症の原因物質であるDHT産生を抑制します。なお、前頭部と頭頂部にある5 α リダクターゼは2型が主であるとされており、これらの薬剤は医師の処方が必要で保険適応外です。診察は自由診療となるため全額自費になります。料金は以下の通りです。治療はいつでも中止できますが、返金はできませんので、ご了承ください。

フィナステリド先発品

プロペシア錠1mg(税抜表示)

- ・ 初回 28日分(シート) 9,500円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 28日分(シート) 8,000円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 56日分(シート) 16,000円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 84日分(シート) 24,000円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 90日分(ボトル) 23,000円 (診察料・薬剤料込み)

フィナステリド後発品(ジェネリック)

フィナステリド錠1mg「クラシエ」(税抜表示)

- ・ 初回 28日分(シート) 6,850円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 28日分(シート) 5,350円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 56日分(シート) 10,700円 (診察料・薬剤料込み)
- ・ 2回目以降 84日分(シート) 16,050円 (診察料・薬剤料込み)

フィナステリド錠1mg「ファイザー」(税抜表示)

- ・ 2回目以降 90日分(ボトル) 17,250円 (診察料・薬剤料込み)

デュタステリド先発品(税抜表示)

診察料

- ・ 初診料 3,000円(初回)
- ・ 再診料 1,000円(2回目以降毎回)

血液検査

- ・ 肝機能検査 1,850円(毎回必要)
- ・ 血清前立腺特異抗原(PSA) 2,570円(3ヶ月に1回必要)

ザガーロカプセル0.5mg

- ・ 30日分 8,500円(薬剤料のみ)

用法

1日1回1錠内服

治療効果

効果発現までには個人差があり、効果を確認できるまでには半年くらい必要とされています。しかし残念ながら効果が無い場合もありますし、服用を中止すればまた進行します。

フィナステリドの場合、1年後に約40%の方で脱毛が止まり、約58%の方には増毛が見られ、3年後に約20%の方で脱毛が止まり、約78%の方には増毛が見られたとのデータがあります。

デュタステリドの場合、24週間内服後の発毛本数を調べたテストでデュタステリド0.1mg内服がフィナステリド1mg内服と効果は同等で、デュタステリド0.5mg内服はフィナステリド1mg内服より発毛本数が有意に多い(約1.6倍)という結果でした。またフィナステリド1mgを6ヶ月以上投与し、効果が不十分であった患者さんに対し、デュタステリド0.5mgを6ヶ月間投与した結果、77.4%の患者さんに対して効果が認められたというデータもあります。

注意事項（安全性と予想される副作用）

副作用

比較的安全な薬で、副作用の頻度は4.0%でもっとも多い副作用は性欲減退で1.1%です。それ以外に薬のアレルギー症状や勃起不全、射精障害、乳房肥大、肝機能障害などの報告があります。

性欲減退、勃起不全、射精障害については投与中止後も持続した例が報告されています。

精液への移行について

海外のデータですが、反復内服した際にフィナステリド1mgの場合は、精液への移行は投与量の0.00076%以下と極めて微量です。

その他

薬剤を投与された患者で男性乳がんの報告がありますが、薬剤と男性乳がんの発現との関連性は不明です。

海外で実施された18000例以上の健康男性を対象としたフィナステリド5mg（本邦での頻用投与量の5倍）を7年間投与する試験において、低悪性度の前立腺がんの検出頻度はフィナステリド投与群においてフィナステリドを投与しない群よりも30%低いものの悪性度の高い前立腺がんの検出率が、フィナステリド投与群ではわずかに高かったとするデータがあります。しかし前立腺がんによる死亡リスクに差はありませんでした。また前立腺がん発症の有無にかかわらず両群の男性の15年生存率は同じで、両群で前立腺がんと診断された男性らの10年生存率も同様の結果でした。

使用上の注意

1. 妊婦が内服すると男子胎児の生殖器官等の発育に異常を起こす恐れがあるため、妊婦には絶対に服用させないでください。小児にも服用させないようにしてください。
2. フィナステリドは錠剤ですが、皮膚から薬剤が吸収されますので、薬が割れた場合、妊婦や妊娠している可能性のある女性、授乳中の女性は触ってはいけませんので、ご注意ください。割れていなければ触っても大丈夫です。
3. この薬は元々前立腺肥大の薬で、前立腺肥大や前立腺がんの検診などで行う血清前立腺特異抗原（PSA）という血液の検査の値を低下させますので、そのような検査を受け

- る場合は、検査を受ける施設で、この薬を内服していることを申し出てください。
4. 重大な副作用として、フィナステリドの場合、肝機能障害の記載がありますので、定期的な血液検査をおすすめしております。どの薬でも言えることですが、肝臓が悪い人、悪かった人は診察時に申し出てください。

そのほかの治療選択について

男性型脱毛症に対して有効で保険で認められた方法がありません。当院では内服フィナステリドを最もお勧めしております。フィナステリド内服で効果が不十分な場合には外用薬(特にリアップX5:ミノキシジル)との併用またはデュタステリド内服に変更をお勧めしております。他の治療をご希望の方はご相談ください。

同意書

おおしま皮膚科
大島昭博

平成 年 月 日

診療名称: フィナステリドによる男性型脱毛症治療

治療内容:

フィナステリドを服用し、男性型脱毛症の進行停止、増毛を期待する治療。なお、この治療法は保険適応外である。

説明事項:

- 1; 治療方法と目的
- 2; 他の治療法
- 3; 期待される効果
- 4; 安全性と予想される副作用
- 5; 患者または代理人の意思で自由に中止、休止可能なこと

以上について、説明を受け、この治療法を受けることに同意します。

(本人) 署名 _____

(代理人) 署名 _____